

## AI時代の教育学会 2021年度 第1回研究会

【研究会の総括(に代えて…)】 学習者一人一台環境

～学習者用デジタル教科書・デジタルノートの現在～

デジタル教科書・デジタルノートをどうする!?

その時、教師は…

## デジタル教科書・デジタルノート

その機能を授業でどう活かすのか

- ・デジタル教科書・教材の機能の有効性(発表A-1)
- ・活用した学びの有効性(発表A-1)
- ・教材の特徴の把握とねらいに応じた活用(発表A-3)
- ・動的視覚的教材による  
「興味/臨場感」「問題解決」への寄与(発表A-4)
- ・マイ教科書作りで自主的自発的な個の学び保障(有泉)
- ・「写真を撮る」ことで、自発的に考えるきっかけに(中筋)

## 教師の役割・専門性の発揮

- ・授業における教師の役割の再考(発表A-1)
- ・質の高い授業づくりの必要性(発表A-1)
- ・小学校中学年段階における  
操作スキルに関する指導の必要性(発表A-2)
- ・児童の学習状況把握と適切な学習支援(発表A-3)
- ・「使い方」だけでなく「学び方」の習慣化(有泉)
- ・DX化とともに、教師のノウハウの継承を(赤堀)  
授業デザイン「デジタル時代における新しい授業設計」を。

## デジタル教科書・ノートに期待される姿

- ・データ保存、ファイル管理、グループ共有(有泉)
- ・操作の自由度{提示・共有・書式}、保存整理(中筋)
- ・紙教科書と比べた「よさ」⇔紙教科書の「よさ」(中筋)

## 一人一台端末 活用から見えること

- ・オンライン取材における信頼関係構築の難しさと、  
取材方法の工夫による解消(発表B-2)
- ・物理的な壁(画面サイズ)を超える工夫を(中筋)

## 安全・安心で使いやすい

デジタル教科書・ノート 運用環境の実現

- ・悪質なコンテンツやAI誤動作を防ぐ  
AI論理システムの一人一台端末への実装(発表B-1)
- ・学校のネット環境に課題(有泉)

## 教職員の「働き方改革」と学校の環境

- ・魅力的で働きやすい職員室環境の実現(発表B-3)  
一人ひとりのアイデアを活かす→意識や行動変容
- ・教員のデジタル温度差をいかに解消するか(有泉)